

# 2017年電波伝搬実験をふりかえって

de JA1RIZ

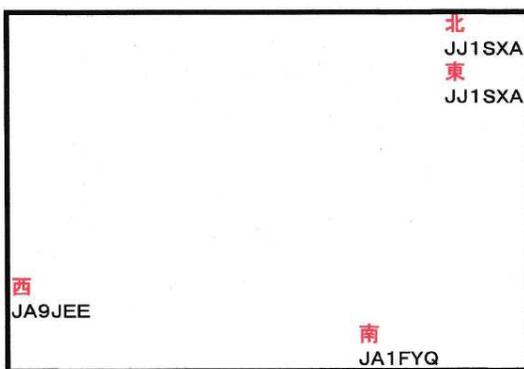
今年も1、2、3、7、 $\phi$ と比較的に多くの地域から参加をしていただき『実験』を終えることができました。実質の移動ポイント10ヶ所・12局でした。

運用開始時間の9時前後よりEsによる混信・ノイズの影響を強く受けたポイントもあった様です。サブ周波数への移行や、運用時間の検討が必要だったかもしれません。

天候は、各地とも良い状態であったと報告を受けております。たいへんお疲れ様でした。

## (1) 各局の位置関係

移動の各局の位置関係は、次の通りです。



JJ1SXA/7局が最も北及び東の地点であり、JA1FYQ/1局が最南端、JA9JEE/3局が最西端に位置していました。後の、各局はこのアングル内に入っていたことになります。JA1FYQ局/千葉鴨川市の最南端は、意外！と思われる人も多いのではないのでしょうか。

## (2) 最長交信距離

最も遠距離交信だったのは、両局ともモバイルアンテナ設備の交信としては、JR2CTR/2（長野県・三笠山） ⇨ JA1RIZ/7（福島県・西郷村県道脇）でした。RS=51で割合と安定した交信ができました。264.79Kmの伝搬距離でした。

最も遠距離に位置したJA9JEE/3 ⇨ JJ1SXA/7(497.41km)は交信できませんでした。

### (3)最多ポイント交信

7P/JA1RIZ/7、6P/JA1FYQ/1・JA1WSE/1、5P/JA1VWB/1・JE1VGJ/1

最多の JA1RIZ は各局が交信できなかった局の JJ1SXA 局と相性の良い場所に移動したことによるといえるでしょう。

コントロール局も、6P であり、安定な交信が確保できたのは位置的にも良い場所であったことを示していると思います。

### (4)運用の反省

#### ① スタート時間は07時で良かったか？

設定時間が早すぎたのか、ねらっていた遠距離移動局のスタンバイがあまり出来ていなかった様です。

#### ② 遠地移動の局との連絡方法

今回はコントロール局との連絡がとれない遠地局とも中継局を介してほぼ連絡がつけましたが、補助連絡手段として、携帯電話も良いのではと思います。最近の携帯電話はロケーションの良い山上でも繋がるようになってきましたので、これらの利用もFBかと思います。

最後に、移動の各局及その他参加しレポート送付頂きました各局、メインコントロール局、サブコントロール局などご協力頂いた各局に感謝申し上げます。

(実験結果は、別紙ご参照下さい。)

以上